

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	15 / 2000 / 19
タイトル	第1回青森環状道路メダカ対策検討委員会開かれる
著者名	五十嵐正俊

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

第1回青森環状道路メダカ対策検討委員会開かれる

(傍聴：五十嵐)

2月3日付の朝日新聞青森版に3段抜きの記事が出ていたのでご記憶の方もおられるでしょうが、環状道路の延長予定地でメダカの棲息が確認されたという。

この予定地ではすでに数年前に行った環境アセスメントの結果、メダカの棲息は確認していたのだそうだが、当時はとくに問題意識はなかったという。しかし、1999. 2. 18環境庁よりメダカが絶滅危惧種II類に指定されたことから建設省青森工事事務所でもメダカを無視して工事の続行が出来なくなり、1999. 12. に再度弘大の佐原教授に調査を依頼したところ28ヶ所の調査ポイント中18ヶ所でメダカの棲息が確認されたという。

以上の経過をもとに第1回の委員会が開かれた次第である。委員会には11人の委員が選任されているが、委員の中にはもと青森高校の小山内孝（現しらかば保育園理事長）先生も含まれている。

従来の工法では排水が効率的に行えるように側溝等はコンクリート3面張りになって、生物に対する配慮は一切なされなかったのだが、最近が多自然型工法を取り入れることになり、この度はメダカを含めて付近の自然環境とどの様に調整が可能かビオトープの併設も視野に入れた予定工法の見直しを含めて検討される事になっている。第2回の委員会は3月中旬に開かれる予定である。